

氏名	藤 井 敬 子
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2453号
学位授与の日付	平成15年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学(二)専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Overexpression of Short Isoforms of Helios in Patients with Adult T Cell Leukaemia/Lymphoma (成人T細胞性白血病/リンパ腫患者において過剰発現を認めた Heliosの短いアイソフォーム)
論文審査委員	教授 赤木 忠厚 教授 清水 憲二 教授 岩月 啓氏

学位論文内容の要旨

我々は以前に、慢性骨髄性白血病の急性転化とB細胞性急性リンパ性白血病の症例において、Ikaros の dominant-negative isoform が過剰発現する症例があることを報告した。また最近、T 細胞性急性リンパ性白血病患者において、Ikaros ファミリー遺伝子である Helios の短い isoform が過剰発現することを報告した。この度の研究では、HTLV-I ウイルスに感染し、成人 T 細胞性白血病/リンパ腫(ATLL)の慢性型と急性型を発症した患者において、Helios の短い isoform が過剰発現していることを認めた。一方で、健常人の HTLV-I 保持者においては Helios の短い isoform は認められなかった。Southern-Blotting を行った結果、ATLL 患者の Helios 遺伝子に小さな欠失が疑われた。以上の結果より、HTLV-I 感染から ATLL 発病の過程において、Helios 遺伝子の異常が重要な一因を担っていることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、成人T細胞白血病 / リンパ腫 (ATLL) における Ikaros ファミリー、とくに Helios の発現を検索したものであるが、ATLL においては健常人の HTLV-1 キャリアでは認められない Helios の短いアイソフォームが過剰発現しており、また Helios 遺伝子に小さな欠失があることが疑われる結果を得ている。ATLL 発病の過程において、Helios 遺伝子の異常が重要な一因を担っているであろうことを初めて明らかにしたものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。